

# ひろしま WENET

広島市女性団体連絡会議 広報紙 第30号 2010.11.30

## 目次

- ・ヒロシマ 平和の灯のつどい (報告) . . . . . 1
- ・2010年日韓男女共同参画フォーラム (報告) . . . . . 2・3
- ・WENETからお知らせ . . . . . 4

## ヒロシマ 平和の灯のつどい



～今年で12回目の開催となりました～

7月31日の夕暮れ、鎮魂と平和への想いを心で受け止めていただくために、広島市女性団体連絡会議（ひろしま WENET）主催で、「ヒロシマ平和の灯のつどい」を開催しました。広島平和文化センターのステューブン・リーパー理事長をはじめ、200名の参加がありました。

今年は、初めて英語版の案内チラシを作成し、広島平和記念資料館や近くのホテルに置き、また、当日は公園内にいた外国の方にも配布した成果があり、例年より多くの外国の方の参加がありました。通訳ボランティアは、広島市女性教育センター(WE プラザ)で活動されている「英会話グループ」と「ヨガグループ沙羅」の皆さんにお願いしました。

つどいに先立ち、古田光恵さんと矢野美耶古さんの案内で碑巡りをし、80人の参加者がありました。

ろうそくに灯をともしての行進は、カザフスタンのヒバクシャのための鎮魂歌「ザマナイ」をボーカリスト TOMOKO さんに歌っていただき、最後に参加者全員で、「青い空」を合唱して閉会となりました。  
(学習部)

# 日韓男女共同参画フォーラム

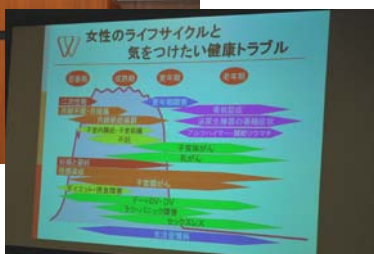
2010年日韓男女共同参画フォーラムには、10月3日のフォーラムと前日の関連行事を合わせて延べ1000人の参加がありました。

10月3日のフォーラムは、広島市女性教育センター（WEプラザ）全館を会場として、韓国・大邱広域市から大邱広域市女性団体協議会の南星姫会長を初め総勢14人の訪問団員と広島市などの地域から250人の参加で開催されました。

9時30分からのオープニングは韓国の「花扇舞」、日本の民謡「広島木やり音頭」「しゃんしゃん傘踊り」で始まり、「ようこそ広島に！21世紀の東アジアにおける平和の架け橋へ」と篠原共同実行委員長のあいさつ、来賓紹介、豊田麻子広島市副市長のあいさつ、基調講演、シンポジウム、展示、昼食懇談会、文化交流など盛り沢山で和やかな交流が行われました。



産婦人科医の対馬ルリ子さんの基調講演は、会場全員が関心を示し、『「本当の健康を手に入れるために」—自分ができること、パートナーとしてできること—』の演題のとおり、現代女性のライフスタイルの変化と女性の体の特性やホルモンの仕組みを男性との違いも含めて、パワーポイントで事例や写真と



図を活用して話され、性差医療の重要性を説いて頂きました。「女性として、一人の尊厳をもった人間として生きる価値についてもう一度考えてみよう。健康は人権であり、知識をもって選択し、前向きに作っていく一生の作業である」と、現代の女性の症例を挙げて分かりやすく、聴いている人の問題としてとらえられ、参加者の共感を得ていました。また、多くの参加者が笑ったり楽しく聴いていました。

シンポジウムは、コーディネーターの篠原共同実行委員長のリードで始まりました。韓国からのシンポジストは南会長と申東鶴前会長、日本からは川瀬啓子安田女子大学教授、豊田副市長でした。コメントーターは対馬医師。「日本女性及び韓国女性の現状と課題」をテーマに、日本からは「私たちが広島で取り組みたいこと」について川瀬教授、「広島市における男女共同参画の現状と課題と取組について」豊田副市長の発表がありました。韓国からは、「女性による幸せな家庭づくり‘暮らしの総体的な基盤としての家庭’の復元を通しての女性の幸せの追求」について南会長、「21世紀変化への女性参加」について申前会長が初めにパワーポイントに沿って発表し、続いて、5名の方々のコメントがありました。両国の女性が置かれている環境で優れている点、進んでいない点が明らかになったと同時に、女性が自立し社会参加をしていく場合の社会環境が厳しい点は、どちらの国でも同様であるこ





とが浮かんできました。

午後に行われた昼食懇談会は2会場に別れての交流でした。韓国の14人の訪問団員が各テーブルに着き食事を取りながらの交流は和やかで、有意義に過ごしました。隣に座った方が、同じ助産師さんで韓国と日本の助産師のお話ができたり、看護師さんのお話が聞けたり、名刺交換や写真撮影もあり、親近感を持つての交流が行われていました。

午後からは、1階ピロティに展示した広島市購入の水素自動車の試乗、説明があり、5階ホールロビーでは広島の産業紹介、国際交流事業の先進事例、裂き織りグループの作品展示を日韓両国の参加者が熱心に見ていました。

女性教育センター主催のカジダン・イクメン写真展の取り組みも興味を持って見ていました。子どもたちによる神楽「悪狐伝」は、プロ顔負けの舞いで大きな拍手が起こっていました。

手作り満載のお土産を篠原共同実行委員長、西田志都枝共同実行委員長から大邱広域市女性協議会に渡し、フォーラムは終了しました。

参加者の感想は「基調講演が楽しく、分かりやすくお話くださり良かった」「家族に話したいことばかりでした」「国が違っても問題の共通点が多いのだと思った。しかし、頑張る女性が多くいることがうれしかった。女性も勉強していく時代ですね」「初めての参加でした。皆さんが盛り上げようとしているのを感じ、これからも参加したいと思います」など45名の方から意見、感想を寄せて頂きました。



フォーラムの前日10月2日は、関連事業として韓国からの訪問団の皆さんと一緒に平和記念公園、原爆慰霊碑、韓国慰霊碑、原爆ドーム、原爆の子の像を巡り、国際会議場研修室で韓国人被爆者である郭福順さんの証言を聞きました。

また、ごみ処理施設の広島市南工場と広島市西部リサイクルプラザを視察し、環境問題について学びました。

この一連の取り組みは、日本及び韓国における女性の社会的地位向上、男女の平等な関係の構築を目指す諸政策や運動について互いに学び合うことを通し交流を継続していくための活動です。その上に、21世紀の東アジアにおける平和の創造と女性の社会的地位向上を目指したフォーラムとしていくことを目的に掲げ主催されたものです。2010年日韓男女共同参画フォーラム実行委員会を4月9日に発足し、10月まで委員のメンバーは暑い夏の日々もさまざまな準備をしてきました。まず、財政づくりからと、7～8月にチヂミを作り販売し、地域の祭りにバザーで参加するなど、工夫を凝らして取り組みました。酷暑の中、協賛広告と1口協賛の願いを全員が力を合わせて歩き回り、85万円もの協賛金を集めました。フォーラムに出演していただく方々は、出演を快く受託していただき、プログラムも予算のない中、関係者の協力を得て完成しました。言語の違いを乗り越えて、多くの方々のさまざまな協力により、すべてを無事完了することができたと、実行委員は胸をなでおろしていました。手作りでのおもてなしも大いに喜んでいただき、大邱広域市女性協議会の皆さまは韓国への帰路に着かれました。

(2010年日韓男女共同参画フォーラム実行委員会)

## ☆ 研修会のおしらせ

デートDVセミナー	広島市議会傍聴企画予定
テーマ 「あなたは大切にされていますか」 ～それって愛？ デートDV？～ 講師 石井三恵さん（広島女学院大学教授） 日時 2011年2月19日（土）午後1時半～3時半 対象 どなたでもご参加ください 場所 中区地域福祉センター（中区大手町四丁目）	2月ごろの予定です。 会員の皆様、議会傍聴の経験がない方は是非ご参加ください。 あなたが選んだ議員の活動をチェックしましょう。

## ☆ 広島市女性教育センター（WEプラザ）の閉館のお知らせ

### ～広島市に男女共同参画拠点施設ができます！～

男女の人権が尊重され、対等なパートナーとして責任を分かち合い、個性や能力を十分に発揮できる男女共同参画社会をつくる—豊かで生き生きとした広島を創造し未来に引き継いでいくために大変重要なことです。

広島市では、広島市女性教育センター（WEプラザ・中区大手町五丁目）を改修して整備を行い、女性教育センターにおける総合相談、情報提供、学習・研修支援、活動・交流支援等の機能を発展的に継承した上で、必要となる機能を付加・拡充し、男女共同参画拠点施設として設置することにしています。

拠点施設では、女性にとっても男性にとっても生きやすい社会の実現に向け、男女共同参画の視点を持って、多様な主体が連携・協力しながら、個人や地域が抱える課題の解決に取り組んでいくこととなります。

現在、平成23（2011）年度末の開館を目指して取組を進めていますので、皆さまには、今後とも、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。（広島市市民局人権啓発部男女共同参画課）

**女性教育センターは、平成23（2011）年3月31日で閉館となります。**

### 編集後記

10月「日韓男女共同参画フォーラム」が開催され、お互いの文化を交流し深めながら、現在の共通した課題等を知り考える良い機会となりました。平和で豊かな社会を目指し、今後も活動し続けながら、ネットワークを育てていきましょう。

WENETニュース第30号 2010年11月30日

発行者 広島市女性団体連絡会議（広島市市民局人権啓発部男女共同参画課気付）

責任者 西田 志都枝